

政令番号237 水銀及びその化合物

各都道府県での届出事業所からの「排出・移動先別の排出量・移動量」(平成29年度)

(E+nは $\times 10^n$ 、例えばE+3は $\times 1000$ の意味です。)

都道府県 コード	都道府県名	排出量(kg/年)				移動量(kg/年)			排出量・ 移動量 合計
		大気へ の排出	水域へ の排出	土壌への 排出・ 所内埋立	排出量 合計	下水道へ の移動量	廃棄物 搬出	移動量 合計	
1	北海道	3.5E+0	8.4E+0	1.0E+1	21.9				21.9
2	青森県	5.3E+1	2.2E+0		55.2		4.4E+1	44.0	99.2
3	岩手県		1.4E+0		1.4				1.4
4	宮城県		4.0E+0	6.0E-1	4.6				4.6
5	秋田県		8.0E-1	3.2E+2	320.8				320.8
6	山形県		3.0E-1		0.3				0.3
7	福島県	4.0E-1	1.6E+1		16.4				16.4
8	茨城県	1.2E+0	2.0E+0		3.2				3.2
9	栃木県		7.0E-1		0.7				0.7
10	群馬県		7.0E-1		0.7				0.7
11	埼玉県		5.4E+0		5.4				5.4
12	千葉県		1.2E+0		1.2				1.2
13	東京都								
14	神奈川県		6.0E-1		0.6				0.6
15	新潟県	3.9E+0	4.0E-1		4.3		2.8E+0	2.8	7.1
16	富山県		7.0E-1		0.7				0.7
17	石川県		1.2E+1		11.7				11.7
18	福井県		1.5E+0		1.5				1.5
19	山梨県								
20	長野県	2.0E-1	2.7E+0		2.9				2.9
21	岐阜県		3.1E+0		3.1		3.1E+1	31.0	34.1
22	静岡県		1.0E+1		10.4				10.4
23	愛知県		8.8E+0		8.8				8.8
24	三重県								
25	滋賀県		2.7E+0		2.7				2.7
26	京都府		2.5E+0		2.5				2.5
27	大阪府		2.0E-1		0.2				0.2
28	兵庫県		3.8E+0		3.8				3.8
29	奈良県		7.0E-1		0.7		6.0E-1	0.6	1.3
30	和歌山県		7.0E-1		0.7				0.7
31	鳥取県		5.0E-1		0.5				0.5
32	島根県		1.0E+0		1.0				1.0
33	岡山県		1.0E-1		0.1				0.1
34	広島県		1.1E+0		1.1				1.1
35	山口県	4.0E-1	6.0E-1		1.0		3.8E+1	38.0	39.0
36	徳島県		2.0E-1		0.2				0.2
37	香川県	1.5E+1	1.0E-1		15.1				15.1
38	愛媛県		1.3E+1		12.7				12.7
39	高知県		1.2E+0		1.2				1.2
40	福岡県		3.6E+0		3.6				3.6
41	佐賀県		7.5E+0		7.5				7.5
42	長崎県		1.0E+0		1.0				1.0
43	熊本県		9.3E+0		9.3				9.3
44	大分県		4.0E+0		4.0				4.0
45	宮崎県		4.9E+0		4.9				4.9
46	鹿児島県		1.1E+0		1.1				1.1
47	沖縄県		8.0E-1		0.8				0.8
全 国		7.8E+1	1.4E+2	3.3E+2	551.5		1.2E+2	116.4	667.9

注1) 農薬は使用先別使用量として別表にも示している。